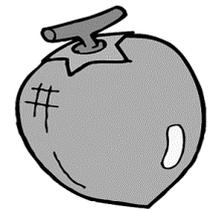




# 柿栽培技術情報（5月の管理）



令和6年4月30日  
宮城県大河原農業改良普及センター

## 《5月の管理のポイント》

**炭そ病・落葉病防除のため、開花直前の防除を実施しましょう**

### 1 気象経過

平均気温は、3月中旬までは平年並みで推移しましたが、それ以降は高気圧に覆われ晴れる日が多く、かなり高く推移しました。

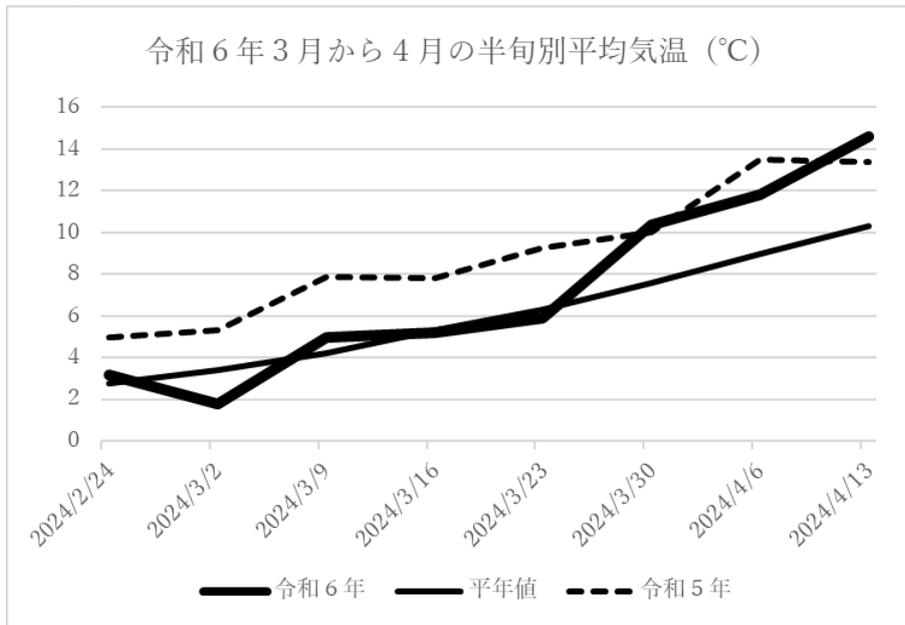


図1 アメダス丸森地点の半旬別平均気温の経過

### 2 生育ステージ（普及センター調べ）

生育ステージ 「蜂谷」		発芽期	展葉期	開花始
丸森町	昨年	4/6	4/10	6/1
	本年	4/5	4/17	未

#### (6) かき「平核無」

发育ステージ	発芽期	展葉期	新梢伸長期	
安全限界温度 (°C)	-4.0	-4.0	-2.8	
果樹研究所 (福島市)	昨年	3/24	4/7	4/14
	本年	4/3	未	

※1 果樹研究所における「平核無」の平年値：発芽期 4月4日、展葉期 4月19日。

引用：福島県農林水産部農業振興課 「果樹の生育ステージと防霜対策のための温度指標」（令和6年4月11日）

### 3 5月の栽培管理

#### (1) 授粉の準備

- ・かきは、平年であれば6月上・中旬に開花しますが、今年はやや早くなりそうなので生育状況を十分確認してください。
- ・かきは虫媒花で訪花昆虫はミツバチが最も多く、ミツバチの放飼効果は高く結実率が向上します。

#### (2) 芽かき

- ・骨格となる枝の直上に発生した新梢や枝が伸びる方向に逆行する新梢は、養分の浪費を防ぐため早めに除去します。
- ・大きな切り口に発生した新梢は、切り口に近いものを数本残して整理し、切り口のゆ合を促進します。
- ・弱い新梢は、次の年の側枝に育成することもできます。

### 4 病虫害防除

- ・かきの生育ステージを確認し、遅れないように防除を実施しましょう。
- ・散布回数や散布量の見直しを行いましょう。また、適正な肥培管理、通風採光をよくするなどして発病しにくい栽培環境づくりに努めてください。

#### (1) 炭そ病

##### イ 特徴

- 病原菌 : 糸状菌
- 活動適温 : 20~27℃ (15℃程度から感染する)
- 伝染経路 : 水 (雨や朝露など)
- 感染と発病 : 植物体に侵入し7~10日程度で発病
- 好適な環境 : 排水不良園、密植園で風通しが悪い、谷地の日陰地、朝露が残る地形



【炭そ病の新梢病斑】

##### ロ 5月の防除のポイント

- ・開花直前の薬剤散布 (5月下旬頃)
- ・散布後1~2日程度、降雨の心配がない日を選んで防除する。

#### (2) 円星落葉病

##### イ 特徴

- 病原菌 : 糸状菌
- 活動適温 : 20~25℃ (最低温度10℃)
- 伝染経路 : 風 (降雨によって孢子が飛散)
- 感染と発病 : 梅雨時期に葉に感染、2~4か月以上の潜伏期間を経て発病 (2次感染なし)
- 好適な条件 : 梅雨時期の降雨、耕土が浅いほ場、根の障害 (肥料不足、干ばつ、長雨等)



【円星落葉病の秋の病斑】

##### ロ 5月の防除のポイント

- ・開花直前の薬剤散布 (5月下旬頃)

### (3) 角斑落葉病

#### イ 特徴

- 病原菌 : 糸状菌  
活動適温 : 30℃前後 (最低 10℃)  
伝染経路 : 風 (降雨によって孢子が飛散)  
感染と発病 : 梅雨時期に葉に感染、1 か月程度の潜伏期間を経て発病  
(2 次感染あり)

#### ロ 5 月の防除のポイント

- ・ 円星落葉病と同じです。



### (4) カキクダアザミウマ

#### イ 生態

- 加害部位 : 若葉や果実  
被害の特徴 : 果実に黄褐色の小斑点が輪状に出現  
形態 : 成虫は体長 2 mm 程度で黒色  
越冬形態 : 成虫でカキやスギ等の粗皮内  
発生回数 : 年 1 回の発生  
生活史 :

【カキクダアザミウマの成虫】

4 月	5 月	6 月	7 月
越冬成虫がカキへ飛来 →若葉を縦に巻き産卵	→第 1 世代幼虫が発生	→第 1 世代成虫は 6 月に幼果を加害	→越冬場所へ移動

#### ロ 防除のポイント

- ・ 巻葉は見つけ次第除去します。
- ・ 薬剤防除は 5~6 月に実施します。
- ・ スギなどの樹皮でも越冬するため、近くにスギがある園地では特に注意しましょう。

#### 【農薬使用上の注意】

- ・ 農薬を使用する際には、その剤の使用回数と含有する成分ごとの使用回数に注意してください。
- ・ 農薬散布を行う場合は、事前に最新情報で農薬登録を確認し使用してください。また、農薬使用の際には飛散防止対策を講じてください。

## かき栽培管理チェックシート

		生育ステージ	主な作業	病虫害防除	実施月日
4月	上旬	発芽期	防霜対策		
	中旬				
	下旬			芽かき	
5月	上旬		↓	病虫害防除	
	中旬				
	下旬			摘 蕾	<b>病虫害防除</b>
6月	上旬	開花期	授粉準備		
	中旬			<b>炭そ病斑の除去 (収穫まで随時)</b>	病虫害防除
	下旬				<b>病虫害防除</b>
7月	上旬	新梢伸長停止	摘 果	病虫害防除	
	中旬			<b>病虫害防除</b>	
	下旬			徒長枝整理	
8月	上旬			<b>病虫害防除</b>	
	中旬				
	下旬			<b>病虫害防除</b>	
9月	上旬			病虫害防除	
	中旬			<b>病虫害防除</b>	
	下旬				
10月	上旬		↓		
	中旬				
	下旬				
11月	上旬		収穫開始		
	中旬				
	下旬			落葉期	
12月	上旬				
	中旬			落葉処理	
	下旬			休眠期	
1月	上旬			せん定	
	中旬				
	下旬				
2月	上旬			粗皮削り	
	中旬				
	下旬			元 肥	
3月	上旬			せん定枝片づけ	
	中旬				休眠期防除
	下旬			↓	防霜対策

○炭そ病が発病した新梢・徒長枝・果実は見つけ次第取り除き、ほ場外に廃棄する。

○病虫害防除の太字分は、最低限実施する。

○防霜資材は発芽前頃から降霜が予想される場合に散布する。